

イトーヨーカドーのCSRアクション

認知症サポーター養成講座

すべてのお客様に寄り添える店舗へ



吉田 都麦

食品館瀬谷店
管理統括マネージャー

「国際アルツハイマー病協会」(ADI)は、1994年に世界保健機構(WHO)と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、この日を中心に認知症の啓発活動を実施しています。

イトーヨーカドーでは、地域行政や団体などと連携した啓発活動を実施し、毎年6月と9月を認知症サポーター養成強化月間として取り組みを推進しています。

認知症サポーターとは、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族を温かい目で見守る

「応援者」のことです。その上で、自分のできる範囲でサポーターとして活動しています。

イトーヨーカドー従業員の認知症サポーター人数は13,055人(全従業員に占める割合50.0%)となりました。

イトーヨーカドー食品館瀬谷店では、横浜市瀬谷区中屋敷地域包括支援センターさんと打合せを重ね、売場実務につながる研修カリキュラムを実施しました。

これからもイトーヨーカドーは、すべてのお客様に寄り添った活動を続けてまいります。



関連情報

「認知症サポーター 厚生労働省」
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000089508.html>
「世界アルツハイマーデー及び月間について 厚生労働省」

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/alzheimerday2021.html#:~:text=1994%E5%89%B4%E3%80%9C%E5%98%BD%E9%9A%9B%E3%82%A2%E3%83%AB%E3%83%84%E3%83%8F%E3%82%A4%E3%83%9E%E3%83%BC%E7%97%85%E5%8F%96%E3%82%8A%E7%B5%84%E3%81%BF%E3%82%92%E8%A1%8C%E3%81%A3%E3%81%A6%E3%81%84%E3%81%BE%E3%81%99%E3%80%82>